

3年 評価の観点と評価例

単元名	おもな学習活動		評価規準（〇おおむね満足できる）と評価の手法	◎十分満足できる
1 しぜんのかんさつをしよう	第1次 生きもののすがた	〇身の回りの生き物 教科書の絵を見て、知っている生き物を探し、その姿について話し合う。	関意態① 身の回りの生き物のようすに興味・関心をもち、進んで生き物の姿を調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	身の回りの生き物のようすに興味・関心をもち、生き物の姿について生活経験をもとに見通しをもって、意欲的に身の回りの生き物の姿を調べようとしている。
		〇生き物の姿 虫めがねの使い方を知り、生き物の姿を調べる。	関意態② 身の回りの生き物に愛情をもって関わったり、生態系の維持に配慮したりしようとしている。 （行動観察・発言分析）	身の回りの生き物にも命があることを理解して、愛情をもって関わったり、積極的に生態系の維持に配慮したりしようとしている。
			技能① 身の回りの生き物のようすを諸感覚で確認したり、虫めがねなどを適切に使ったりしながら観察をしている。 （行動観察）	身の回りの生き物のようすを諸感覚で確認したり、観察する対象に合わせて虫めがねなどを正しく適切に使ったりしながら、詳しく観察している。
			技能② 身の回りの生き物のようすを観察し、結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	身の回りの生き物のようすを詳しく観察し、結果を絵や文を使って正しく記録している。
			思・表① 生き物の姿を比較して、差異点や共通点を考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	生き物の姿を比較して、色や形、大きさなどの視点をもって差異点や共通点を考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。
			知・理① 生き物は色、形、大きさなどの姿が違うことを理解している。 （発言分析・記述分析）	生き物は、色・形・大きさなどの姿が違うことを観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
2 植物をそだてよう（1） たねまき	第1次 たねまき	〇植物の育ち方 栽培したことのある植物について話し合い、植物が育つ順序を予想する。	関意態① 植物の育ち方に興味・関心をもち、進んで成長のきまりを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	植物の育ち方に興味・関心をもち、成長のきまりについて既習事項や生活経験をもとに見通しをもって、意欲的に調べようとしている。
		〇種の観察 育てる植物を決め、観察カードのかき方を知り、種のようすを観察する。	技能① 植物の種のようすを観察し、種の特徴を記録している。 （行動観察・記録分析）	植物の種のようすを詳しく観察し、種の特徴を絵や文を使って正しく記録している。
			知・理① 植物の種は、植物によって色や形、大きさに違いがあることを理解している。 （発言分析・記述分析）	植物の種は植物によって色や形、大きさに違いがあることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
	第2次 そだつようす	〇種まき 育てる植物の種をまく。	関意態② 植物に愛情をもって世話をし、育てようとしている。 （行動観察・発言分析）	身近な植物にも命があることを理解し、愛情をもって世話をし、意欲的に育てようとしている。
		〇芽が出たあと 芽が出たあとのようすを調べる。	思・表① 植物の芽生えのようすを比較して、差異点や共通点を考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	植物の芽生えのようすを比較して、形や大きさなど視点をもって差異点や共通点を考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。
3 こん虫をそだてよう	第1次 チョウのそだち方	〇チョウの卵 チョウの育ち方を予想する。	関意態① チョウの育ち方に興味・関心をもち、進んで成長のきまりを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	チョウの育ち方に興味・関心をもち、成長のきまりについて生活経験をもとに見通しをもって、意欲的に調べようとしている。
		〇卵の変化 チョウの育ち方を卵から調べる。	技能① 虫めがねを適切に使って、チョウの卵のようすを観察している。 （行動観察）	観察する対象に合わせて虫めがねを正しく適切に使って、チョウの卵のようすを詳しく観察している。
		〇幼虫の育ち方 幼虫の飼い方を知り、幼虫の育ち方を調べる。	関意態② チョウの幼虫に愛情をもって世話をし、育てようとしている。 （行動観察・発言分析）	チョウの幼虫にも命があることを理解して、愛情をもって世話をし、意欲的に育てようとしている。
			技能② チョウの幼虫の成長のようすを観察し、その過程や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	チョウの幼虫の成長のようすを詳しく観察し、その過程や結果を絵や文を使って正しく記録している。
		〇さなぎから成虫へ さなぎのようすを調べる。	技能③ さなぎからチョウへの成長のようすを観察し、その過程や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	さなぎからチョウへの成長のようすを詳しく観察し、その過程や結果を絵や文を使って正しく記録している。
		〇チョウの育ち方 観察カードを整理して、チョウの育ち方の順序について考える。	思・表① チョウの卵から成虫までの変化のようすから、成長のきまりについて考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	チョウの卵から成虫までの変化のようすから、成長のきまりについて考察し、形や大きさ、食べ物など視点をもって、自分の考えをわかりやすく表現している。
			知・理① チョウの育ち方には、一定の順序があることを理解している。 （発言分析・記述分析）	チョウの育ち方には、一定の順序があることを観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
	第2次 チョウの体のつくり	〇チョウの体のつくり チョウの体のつくりを調べる。	知・理② チョウの体は、頭、胸及び腹からできていることを理解している。 （発言分析・記述分析）	チョウの体は、頭、胸及び腹からできていることを観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。

単元名	おもな学習活動		評価規準（〇おおむね満足できる）と評価の手法	◎十分満足できる
3 こん虫をそだてよう	第3次 トンボやバッタのそだち方	〇トンボやバッタの育ち方 トンボやバッタの育ち方の順序を予想し、その育ち方を調べる。	思・表② トンボやバッタとチョウの成長のようすを比較して、差異点や共通点について予想をもち、表現している。 （発言分析・記述分析）	トンボやバッタとチョウの成長のようすを比較して、差異点や共通点について既習事項や生活経験に照らし合わせて根拠のある予想をもち、具体例を挙げてわかりやすく表現している。
			技能④ トンボやバッタの成長のようすを観察し、その過程や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	トンボやバッタの成長のようすを詳しく観察し、その過程や結果を絵や文を使って正しく記録している。
			知・理③ 昆虫の育ち方には一定の順序があり、なかにはその成長過程の一部を欠くものがあることを理解している。 （発言分析・記述分析）	昆虫の育ち方には一定の順序があり、なかにはその成長過程の一部を欠くものがあることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
	第4次 トンボやバッタの体のづくり	〇トンボやバッタの体のづくり トンボやバッタの体のづくりを調べる。	関意態③ いろいろな昆虫の体に興味・関心をもち、進んで体のづくりを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	いろいろな昆虫の体に興味・関心をもち、体のづくりについて、チョウと比較しながら意欲的に調べようとしている。
			知・理④ 昆虫の体は、頭、胸及び腹からできていて、胸に6本のあしがあることを理解している。 （発言分析・記述分析）	昆虫の体は、頭、胸及び腹からできていて、胸に6本のあしがあることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
◎ 葉・くき・根 植物をそだてよう （2）	第1次 そだつようす と体のづくり	〇育つようす 植物の育つようすを調べる。	技能① 植物を観察し、植物の成長のようすを記録している。（行動観察・記録分析）	植物を詳しく観察し、植物の成長のようすを絵や文などを使って正しく記録している。
			思・表① 植物の育ち方を比較して、成長のきまりについて考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	植物の育ち方を比較して、形や大きさなどの視点をもって成長のきまりを考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。
		〇植物の体のづくり 植物の体のづくりを調べる。	関意態① 植物の体のづくりに興味・関心をもち、進んで植物の体のづくりを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	植物の体のづくりに興味・関心をもち、植物の体のづくりについて既習事項や生活経験をもとに見通しをもち、意欲的に調べようとしている。
			知・理① 植物の体は、葉、茎、根からできていることを理解している。 （発言分析・記述分析）	植物の体は葉、茎、根からできていることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
4 ゴムや風でものを動かそう	第1次 ものをうごかす ゴム	〇ゴムの力と物の動き ゴムで動く車を作ってゲームをし、気づいたことを話し合う。	関意態① ゴムの力が物を動かすことに興味・関心をもち、進んでのばされたゴムのはたらきを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	ゴムの力が物を動かすことに興味・関心をもち、のばされたゴムのはたらきについて自ら問題を見出し、意欲的に調べようとしている。
			思・表① ゴムののばし方を変えて車を動かしたときのようすを比較して、それらについて予想をもち、表現している。 （発言分析・記述分析）	ゴムののばし方を変えて車を動かしたときのようすを比較して、既習事項や生活経験に照らし合わせて根拠のある予想をもち、わかりやすく表現している。
		〇ゴムのはたらきと車の動き ゴムののばし方を変えて、車の進む長さを調べる。	技能① ゴムののばし方を変えたときの車の動き方を調べ、その過程や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	ゴムののばし方を変えたときの車の動き方を詳しく調べ、その過程や結果を図や表などに整理して正しく記録している。
			知・理① のばされたゴムには、物を動かすはたらきがあることを理解している。 （発言分析・記述分析）	のばされたゴムには物を動かすはたらきがあることを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
			思・表② 輪ゴムの数や太さを変えてはたらかせたときのようすを比較して、それらを考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	輪ゴムの数や太さを変えてはたらかせたときのようすを比較して、それらを考察し、自分の考えを図などを使ってわかりやすく表現している。
	第2次 ものをうごかす 風	〇風のはたらきと車の動き 風の強さを変えて、車の進む長さを調べる。	思・表③ 強い風と弱い風で車を動かしたときのようすを比較して、それらを考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	強い風と弱い風で車を動かしたときのようすを比較して、それらを考察し、自分の考えを図などを使ってわかりやすく表現している。
			知・理② 風には、物を動かすはたらきがあることを理解している。 （発言分析・記述分析）	風には物を動かすはたらきがあることを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇作ってみよう ゴムや風で動くいろいろなおもちゃを作る。	技能② ゴムや風の力のはたらきを利用し、おもちゃ作りをしている。 （行動観察・作品分析）	ゴムや風の力のはたらきを生かすように工夫しながら、計画的におもちゃ作りをしている。

単元名	おもな学習活動		評価規準（〇おおむね満足できる）と評価の手法	◎十分満足できる
◎ 花 植物をそだてよう（３）	第１次 そだつようす	〇育つようす 植物の育つようすと花のようすを調べる。	関意態① 植物の育ち方に興味・関心を持ち、進んで成長のきまりを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	植物の育ち方に興味・関心を持ち、成長のきまりについて既習事項や生活経験をともに見通しを持ち、意欲的に調べようとしている。
			技能① 植物を観察し、植物の成長のようすを記録している。 （行動観察・記録分析）	植物を詳しく観察し、植物の成長のようすを絵や文などを使って正しく記録している。
			思・表① 植物の育ち方を比較して、成長のきまりを考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	植物の育ち方を比較して、形や大きさなどの視点をもって成長のきまりを考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。
			知・理① 植物は、成長して花が咲くことを理解している。 （発言分析・記述分析）	植物は、成長して花が咲くことを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
◎ じゆうけんきゆう	第１次 じゆうけんきゆう	〇自由研究のテーマと計画 自由研究の研究テーマを決め、調べ方や作り方の計画を立てる。	関意態① これまでに学習したことや身の回りの自然事象の中から研究テーマを見つけ、進んで調べようとしたり、作ったりしようとしている。 （行動観察・発言分析）	これまでに学習したことや身の回りの自然事象の中から自ら研究テーマを見出し、計画性と意欲をもって調べようとしたり、作ったりしようとしている。
			思・表① 調べたいことや作ってみたい物をはっきりさせ、研究の見通しをもっている。 （発言分析・記述分析）	調べたいことや作ってみたい物をはっきりさせ、研究の手順を理解し、既習事項や生活経験に照らし合わせて根拠のある予想などをもち、研究の見通しをもっている。
		〇自由研究のまとめと発表 調べたことや作った物についてまとめ、発表する。	技能① 調べたことや作った物について、その過程や結果をまとめている。 （行動観察・記録分析）	調べたことや作った物について、その過程や結果を図や表などに表してわかりやすくまとめている。
			思・表② 研究の過程や成果などについて、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	研究の過程や成果などについて、どのようなことに気づいたり、考えたりしたか、自分の考えを文や言葉を使ってわかりやすく表現している。
５ 動物のすみかをしらべよう	第１次 動物のすみか	〇動物のいる場所とようす 動物のいる場所と動物のようすを調べ、それらにきまりがあるか考える。	関意態① 身の回りの動物のようすに興味・関心を持ち、進んで活動のようすやその周辺的环境との関係を調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	身の回りの動物のようすに興味・関心を持ち、活動のようすやその周辺的环境との関係について既習事項や生活経験をともに見通しをもって、意欲的に調べようとしている。
			関意態② 身の回りの生き物に愛情をもって関わったり、生態系の維持に配慮したりしようとしている。 （行動観察・発言分析）	身の回りの生き物にも命があることを理解し、愛情をもって関わったり、積極的に生態系の維持に配慮しようとしている。
			技能① 身の回りの動物のようすやその周辺的环境を観察し、その過程や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	身の回りの動物のようすやその周辺的环境を詳しく観察し、その過程や結果を絵や文などを使って正しく記録している。
			知・理① 生き物は、その周辺的环境と関わって生きていることを理解している。 （発言分析・記述分析）	生き物はその周辺的环境と関わって生きていることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇やってみよう 動物と植物の関わりを調べる。	思・表① 身の回りの動物のようすやその周辺的环境との関わりを比較して、差異点や共通点を考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	身の回りの動物のようすやその周辺的环境との関わりを比較して、差異点や共通点を考察し、食べものやすみかなど視点をもって、自分の考えをわかりやすく表現している。
◎ 花がさいたあと 植物をそだてよう（４）	第１次 花がさいたあと	〇植物のようす 植物の育つようすを調べる。	関意態① 植物の育ち方に興味・関心を持ち、進んで成長のきまりを調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	植物の育ち方に興味・関心を持ち、成長のきまりについて既習事項や生活経験をともに見通しを持ち、意欲的に調べようとしている。
			技能① 植物を観察し、植物の成長のようすを記録している。 （行動観察・記録分析）	植物を詳しく観察し、植物の成長のようすを絵や文などを使って正しく記録している。
		〇植物の育ち方 観察カードを整理して、植物の育ち方についてまとめる。	技能② 植物の成長の変化を整理し、その過程や結果をまとめている。 （行動観察・記録分析）	植物の成長の観察記録などを工夫して整理し、その過程や結果を絵や文などを使って、植物の成長の変化をわかりやすくまとめている。
			思・表① 植物を比較して、成長のきまりを考察し、自分の考えを表現している。 （行動観察・記述分析）	植物の育ち方を比較して、形や大きさなどの視点をもって成長のきまりを考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。
			知・理① 植物の育ち方には、一定の順序があることを理解している。 （発言分析・記述分析）	植物の育ち方には一定の順序があることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。

単元名	おもな学習活動		評価規準（〇おおむね満足できる）と評価の手法	◎十分満足できる
6 太陽のせいれい地面のようすをしらべよう	第1次 かげのでき方と太陽のうごき	〇影のでき方 影踏み遊びをして、影について気づいたことを話し合う。	関意態① 影のでき方に興味・関心を持ち、進んで太陽と影の関係を調べようとしている。（行動観察・発言分析）	影のでき方に興味・関心を持ち、太陽と影の関係について自ら問題を見出し、意欲的に調べようとしている。
		〇影の向きと太陽の見える方向 影ができておるときの、太陽の見える方向を調べる。	技能① 遮光板を適切に扱い、安全に太陽を観察している。（行動観察） 知・理① 影は、人や物が太陽の光を遮ると太陽の反対側にでき、影の向きはどれも同じになることを理解している。（発言分析・記述分析）	遮光板の使い方を正しく理解し、安全に太陽を観察している。 影は人や物が太陽の光を遮ると太陽の反対側にでき、影の向きはどれも同じになることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇影の向きと太陽の動き 時刻を変えて、影の向きを調べる。	思・表① 影の向きの変化と太陽の動きを比較して、それらを考察し、自分の考えを表現している。（発言分析・記述分析） 知・理② 影の向きが時間がたつにつれて変わっていくのは、太陽が動いているためであることを理解している。（発言分析・記述分析）	影の向きの変化と太陽の動きを比較して、それらを考察し、調べた時刻の影の位置と太陽の位置を関係づけて自分の考えをわかりやすく表現している。 影の向きが時間がたつにつれて変わっていくのは、太陽が動いているためであることを観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇太陽の動き 方位磁針の使い方を知り、1日の太陽の動き方を調べる。	技能② 方位磁針を適切に使用し、方位を調べている。（行動観察） 知・理③ 太陽は東のほうからのぼり、南の高い空を通過して、西のほうへしずむことを理解している。（発言分析・記述分析）	方位磁針の使い方を理解し、正しく使用してどの方位に何があるかを具体的に調べている。 太陽は東のほうからのぼり、南の高い空を通過して西のほうへしずむことを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
	第2次 日なたと日かげの地面のようす	〇日なたと日陰の地面のようす 日なたと日陰の地面のようすの違いを調べる。	関意態② 日なたと日陰の地面のようすの違いに興味・関心を持ち、進んで太陽と地面のようすとの関係を調べようとしている。（行動観察・発言分析） 知・理④ 日なたと日陰では、地面の暖かさや湿り気の違いがあることを理解している。（発言分析・記述分析）	日なたと日陰の地面のようすの違いに興味・関心を持ち、太陽と地面のようすについて、生活経験をもとに見通しをもって、意欲的に調べようとしている。 日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇日なたと日陰の地面の温度 温度計の使い方を知り、日なたと日陰の地面の温度を時刻を変えて調べる。	技能③ 温度計を適切に使って、温度を測っている。（行動観察・記録分析） 技能④ 日なたと日陰の地面の温度を調べ、その過程や結果を記録している。（行動観察・記録分析） 思・表② 日なたと日陰の地面の温度を比較して、それらを考察し、自分の考えを表現している。（発言分析・記述分析） 知・理⑤ 地面は太陽によって暖められるので、日陰の地面より日なたの地面のほうが、温度が高くなることを理解している。（発言分析・記述分析）	温度計の使い方を理解し、正しく安全に温度計を使って、温度を測っている。 日なたと日陰の地面の温度を調べ、その過程や結果を表などに整理して正しく記録している。 日なたと日陰の地面の温度を比較して、時刻と地面の温度の変化や日なたと日陰の温度の違いという視点をもって考察し、自分の考えをわかりやすく表現している。 地面は太陽によって暖められ、日陰の地面よりも日なたの地面のほうが温度が高くなることを、観察の結果や生活経験と結びつけて理解している。
	第1次 光のすすみ方	〇光のすすみ方 鏡ではね返した光のすすみ方を調べる。	関意態① 鏡ではね返した日光のすすみ方に興味・関心を持ち、進んで光のすすみ方や性質を調べようとしている。（行動観察・発言分析） 知・理① 光は集めたり反射させたりすることができることを理解している。（発言分析・記述分析）	鏡ではね返した日光のすすみ方に興味・関心を持ち、光のすすみ方や性質について、自ら問題を見出し、意欲的に調べようとしている。 光は集めたり反射させたりすることができることを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
	第2次 光をあてたところの明るさとあたたかさ	〇光の明るさと暖かさ 光をあてたところの明るさと暖かさを調べる。	思・表① 物に光をあてたときと、そうでないときを比較して、物の明るさや暖かさの違いについて予想を持ち、表現している。（発言分析・記述分析） 知・理② 物に光をあてると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。（発言分析・記述分析）	物に光をあてたときと、そうでないときを比較して、物の明るさや暖かさの違いについて既習事項や生活経験に照らして根拠のある予想を持ち、表現している。 物に光をあてると物の明るさや暖かさが変わることを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇光を集めたときの明るさと暖かさ 鏡の数を増やしたときの明るさと温度を調べる。	技能① 光を集めたときの明るさや暖かさを調べ、その過程や結果を記録している。（行動観察・記録分析） 思・表② 光を集めたり重ねたりしたときと、そうでないときを比較して、物の明るさや暖かさの違いについて考察し、自分の考えを表現している。（発言分析・記述分析）	光を集めたときの明るさや暖かさを正しく調べ、その過程や結果を図や表などに整理して正しく記録している。 光を集めたり重ねたりしたときと、そうでないときを比較して、物の明るさや暖かさの違いについて考察し、自分の考えを図などを適切に使ってわかりやすく表現している。

単元名	おもな学習活動		評価規準（〇おおむね満足できる）と評価の手法	◎十分満足できる
8 ものの重さをしらべよう	第1次 ものの重さと形	〇やってみよう 太陽の光で水を温める。	関意態② 物に日光を当てたときのように 興味・関心を持ち、進んで光が当たったとき の明るさや暖かさについて調べようとしてい る。（行動観察・発言分析）	物に日光を当てたときのように興味・関心 を持ち、光が当たったときの明るさや暖かさ について、既習事項や生活経験をもとに見通 しをもって、意欲的に調べようとしている。
		〇虫めがねで集めた光 虫めがねで光を集めたとき の明るさと暖かさを調 べる。	技能② 虫めがねを適切に使って、安全に光 を集める実験をしている。 （行動観察）	目的に合わせた虫めがねの使い方を正しく理 解し、安全に光を集める実験をしている。
		〇重さ比べ はかりやてんびんの使い 方を知り、身の回りの物の 重さを調べる。	関意態① 身の回りの物の重さに興味・関心 を持ち、進んで物の重さ比べをしようとして いる。 （行動観察・発言分析）	身の回りの物の重さについて興味・関心をも ち、既習事項や生活経験をもとに見通しをも って、意欲的に物の重さ比べをしようとして いる。
		〇物の重さと形 いろいろな形に変えたとき の物の重さを調べる。	技能① はかりを適切に使って、安全に物の重 さを調べている。 （行動観察・記録分析）	はかりの使い方を正しく理解し、安全にはかり を使って物の重さを調べている。
		〇物の変えたと きの物の重さを比較して、それ らを考察し、自分の考えを表現して いる。 （発言分析・記述分析）	思・表① 物の形を変えたときの重さを比較 して、それらを考察し、自分の考えを表現し ている。 （発言分析・記述分析）	物の形を変えたときの重さを比較して、それ らを考察し、自分の考えを絵や文などを適切 に使ってわかりやすく表現している。
9 豆電球にかりをつけよう	第2次 ものの重さとし ゆるい	〇やってみよう ブロックの形を変えて重 さを調べる。	知・理① 物は、形が変わっても重さが変わ らないことを理解している。 （発言分析・記述分析）	物は、形が変わっても重さが変わらないこと を、実験の結果や生活経験と結びつけて理解 している。
		〇同じ体積の物の重さ 同じ体積で、種類の違う物 の重さを比べる。	関意態② 物の形を変えたときの重さに興 味・関心を持ち、進んで物の性質を調べよう としている。 （行動観察・発言分析）	物の形を変えたときの重さに興味・関心をも ち、物の性質について既習事項や生活経験も とに見通しをもって、意欲的に調べようとし ている。
		〇同じ体積の物の重さ 同じ体積で、種類の違う物 の重さを比べる。	物の変えたと きの物の重さを比較して、それ らを考察し、自分の考えを表現して いる。 （発言分析・記述分析）	物の形を変えたときの重さを比較して、それ らを考察し、自分の考えを絵や文などを適切 に使ってわかりやすく表現している。
		〇やってみよう ブロックの形を変えて重 さを調べる。	知・理② 物は、形が変わっても重さが変わ らないことを理解している。 （発言分析・記述分析）	物は、形が変わっても重さが変わらないこと を、実験の結果や生活経験と結びつけて理解 している。
		〇同じ体積の物の重さ 同じ体積で、種類の違う物 の重さを比べる。	関意態② 物の形を変えたときの重さに興 味・関心を持ち、進んで物の性質を調べよう としている。 （行動観察・発言分析）	物の形を変えたときの重さに興味・関心をも ち、物の性質について既習事項や生活経験も とに見通しをもって、意欲的に調べようとし ている。
9 豆電球にかりをつけよう	第1次 電気の通り道	〇電気を通すつなぎ方 豆電球にかりがつくつ なぎ方を調べる。	技能① 乾電池と豆電球を使って、回路を作 り、豆電球を点灯させている。 （行動観察）	乾電池と豆電球を適切に使って、正しく安全 に回路を作り、豆電球を点灯させている。
		〇やってみよう ソケットなしで豆電球に かりをつける。	関意態① 乾電池で豆電球を点灯させること に興味・関心を持ち、進んでそのつなぎ方を 調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	乾電池で豆電球を点灯させることに興味・関 心を持ち、そのつなぎ方について自ら問題を見 出し、意欲的に調べようとしている。
		〇電気が通らないとき 豆電球にかりがつくつ なぎ方についてまとめる。	思・表① 電気を通すつなぎ方と通さないつ なぎ方を比較して、その違いを考察し、自分 の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方を比 較して、その違いを考察し、自分の考えを図 などを適切に使ってわかりやすく表現してい る。
		〇電気が通らないとき 豆電球にかりがつくつ なぎ方についてまとめる。	知・理① 電気を通すつなぎ方と通さないつ なぎ方があることを理解している。 （発言分析・記述分析）	電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があ ることを、実験の結果や生活経験と結びつけ て理解している。
	第2次 電気を通すもの・通さないもの	〇電気を通す物・通さない物 電気を通す物と通さない物 を調べる。	技能② 乾電池と豆電球を使って、身の回り の物が電気を通すかどうかを調べ、その過程 や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	乾電池と豆電球を正しく使って、身の回りの 物が電気を通すかどうかを調べ、その過程や 結果を図や表などに整理して正しく記録して いる。
		〇電気を通す物・通さない物 電気を通す物と通さない物 を調べる。	思・表② 回路の途中にいろいろな物をつな いで、電気が流れるかどうかを比較して、そ の違いを考察し、自分の考えを表現してい る。 （発言分析・記述分析）	回路の途中にいろいろな物をつないで、電気 が流れるかどうかを比較して、その違いを考 察し、自分の考えを図や表などを適切に使っ てわかりやすく表現している。
		〇電気を通す物・通さない物 電気を通す物と通さない物 を調べる。	知・理② 物には、電気を通す物と通さない 物があることや、電気を通す物は金属の仲間 であることを理解している。 （発言分析・記述分析）	物には電気を通す物と通さない物があること や、電気を通す物は金属の仲間であることを 、実験の結果や生活経験と結びつけて理解し ている。
		〇やってみよう 身の回りの金属を探す。	関意態② 身の回りにある物について、電気 を通すか通さないかに興味・関心を持ち、進 んで金属でできた物を調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	身の回りにある物について、電気を通すか通 さないかに興味・関心を持ち、金属でできた 物について既習事項や生活経験をもとに見通 しをもって、意欲的に調べようとしている。
		〇作ってみよう 豆電球を使っておもちゃ を作る。	技能③ 電気の性質を利用し、おもちゃ作り をしている。 （行動観察・作品分析）	いろいろな電気の性質を活用し、その利点を 生かすように工夫しながら、計画的におもちゃ 作りをしている。
		〇電気を通す物・通さない物 電気を通す物と通さない物 を調べる。	関意態② 身の回りにある物について、電気 を通すか通さないかに興味・関心を持ち、進 んで金属でできた物を調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	身の回りにある物について、電気を通すか通 さないかに興味・関心を持ち、金属でできた 物について既習事項や生活経験をもとに見通 しをもって、意欲的に調べようとしている。
		〇作ってみよう 豆電球を使っておもちゃ を作る。	技能③ 電気の性質を利用し、おもちゃ作り をしている。 （行動観察・作品分析）	いろいろな電気の性質を活用し、その利点を 生かすように工夫しながら、計画的におもちゃ 作りをしている。

単元名	おもな学習活動		評価規準（〇おおむね満足できる）と評価の手法	◎十分満足できる
10 じしゃくのふしぎをしよう	第1次 じしゃくに引きつけられるもの	〇身の回りの物と磁石 身の回りの物に磁石を近づけて、気づいたことを話し合う。	関意態① 磁石に物が引きつけられることに興味・関心をもち、進んで磁石のはたらきや性質を調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	磁石に物が引きつけられることに興味・関心をもち、磁石のはたらきや性質について自ら問題を見出し、意欲的に調べようとしている。
		〇磁石に引きつけられる物・引きつけられない物 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物を調べる。	思・表① 磁石に引きつけられる物と引きつけられない物とを比較して、それらについて予想をもち、表現している。 （発言分析・記述分析）	磁石に引きつけられる物と引きつけられない物とを比較して、既習事項や生活経験に照らし合わせて根拠のある予想をもち、表現している。
			知・理① 物には、磁石に引きつけられる物と引きつけられない物とがあり、磁石につく物は鉄であることを理解している。 （発言分析・記述分析）	物には磁石に引きつけられる物と引きつけられない物とがあり、磁石につく物は鉄であることを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇離れている鉄と磁石 磁石が、離れている鉄を引きつけるか調べる。	知・理② 磁石は鉄との間が離れていても、力がはたらくことを理解している。 （発言分析・記述分析）	磁石は鉄との間が離れていても力がはたらくことを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇磁石の極 2 つの磁石の極どうしを近づけると、どうなるか調べる。	技能① 2 つの磁石の極どうしを近づけて、磁石の極性を調べ、その過程や結果を記録している。 （行動観察・記録分析）	2 つの磁石の極どうしを近づけて、磁石の極性を正しく調べ、その過程や結果を図や表などに整理して正しく記録している。
	第2次 じしゃくと鉄		知・理③ 磁石どうしは、同極は退け合い、異極は引き合うことを理解している。 （発言分析・記述分析）	磁石どうしは、同極は退け合い、異極は引き合うことを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇磁石になる鉄 鉄は磁石につけると、鉄は磁石になるか調べる。	思・表② 磁石につけた鉄釘のはたらきを磁石のはたらきと比較して、磁石の性質について考察し、自分の考えを表現している。 （発言分析・記述分析）	磁石につけた鉄釘のはたらきを磁石のはたらきと比較して、磁石の性質について考察し、自分の考えを図などを適切に使ってわかりやすく表現している。
			知・理④ 磁石につけた鉄は、磁石になることを理解している。 （発言分析・記述分析）	磁石につけた鉄は磁石になることを、実験の結果や生活経験と結びつけて理解している。
		〇やってみよう 鉄釘をこすって磁石にする。	関意態② 鉄が磁石になることに興味・関心をもち、進んで磁石の性質を調べようとしている。 （行動観察・発言分析）	鉄が磁石になることに興味・関心をもち、磁石の性質について既習事項をもとに見通しをもって、意欲的に調べようとしている。
		〇作ってみよう 磁石を使っておもちゃを作る。	技能② 磁石の性質を利用し、おもちゃ作りをしている。 （行動観察・作品分析）	磁石の性質を生かすように工夫しながら、計画的におもちゃ作りをしている。
◎ をひらこう おもちゃショー	第1次 おもちゃショーをひらこう	〇おもちゃショーを開こう 今までの学習で作ったおもちゃを使って、おもちゃショーを開く。	技能① 風やゴムの力のはたらき、電気や磁石の性質を利用し、おもちゃを作ったり、作ったおもちゃを改良したりしている。 （行動観察・作品分析）	風やゴムの力のはたらき、電気や磁石の性質を生かすように工夫しながらおもちゃを作ったり、作ったおもちゃをより工夫して改良したりしている。
			関意態① 風やゴムの力のはたらき、電気や磁石の性質を利用して作ったおもちゃを、進んで展示したり説明したりしようとしている。 （行動観察・発言分析）	風やゴムの力のはたらき、電気や磁石の性質を利用して作ったおもちゃを、自ら意欲的に展示して積極的に紹介したり説明したりしている。